

別添資料

●アポイ岳調査研究支援センターの状況

アポイ岳調査研究支援センター(以後、支援センター)は、築後40年以上経過している建物です。
令和4年(2022)12月の暴風雪により屋根の1/3相当が剥がれ被災し、緊急的にシートを張り補修しているが、その下部の宿泊室や廊下、ロビー周辺に水が入っており、現在も一部より水漏れがしている状況です。

※ 現況は令和7年4月撮影のもの

①-1 ロビー1



①-1 ロビー2



①-1 ロビー3



※天井の一部雨漏り

①-2 廊下



※天井が腐敗し、ボードが剥がれている

①-3 廊下



※壁、カビ・腐敗している

①-3 廊下



※天井が腐敗し、ボードが剥がれている

①-4 廊下



※天井のボードが剥がれて漏水しているため、壁の腐敗は時間の問題

①-5 廊下



※天井のボードが剥がれている。

外観



外観



外観 屋根



外観 屋根



※強化シートをかぶせているが、雨水が侵入している。